

「平成18年中の交通事故死者数について」

～ 昭和30年以来51年振りの6千人台前半となる ～

平成18年中の交通事故死者数（24時間以内）

6,352人（前年比 - 519人、- 7.6%）

死者の最多・最少日

- ・ 最多日：11月29日（水）及び12月22日（金） 31人
- ・ 最少日：5月24日（水）及び9月21日（木） 7人

一日平均死者数

17.40人（平成17年中：18.82人）

< 1時間23分に1人 >（平成17年中：1時間16分に1人）

【添付資料】

1	交通事故発生状況の推移	1
2	月別交通事故死者数の推移	2
3	都道府県別交通事故死者数	3
4	主な重大特異死亡事故	4
5	国家公安委員会委員長・警察庁長官のコメント	5

1 交通事故発生状況の推移

年	発生件数		負傷者数		死者数	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数
昭和 21 年	12,504	...	12,655	...	4,409	26
22	17,778	...	16,852	...	4,565	27
23	21,341	...	17,609	...	3,848	23
24	25,113	...	20,242	...	3,790	23
25	33,212	...	25,450	...	4,202	25
26	41,423	...	31,274	...	4,429	26
27	58,487	...	43,321	...	4,696	28
28	80,019	...	59,280	...	5,544	33
29	93,869	...	72,390	...	6,374	38
30	93,981	...	76,501	...	6,379	38
31	122,691	...	102,072	...	6,751	40
32	146,833	...	124,530	...	7,575	45
33	168,799	...	145,432	...	8,248	49
34	201,292	...	175,951	...	10,079	60
35	449,917	...	289,156	29	12,055	72
36	493,693	...	308,697	31	12,865	77
37	479,825	...	313,813	32	11,445	68
38	531,966	...	359,089	37	12,301	73
39	557,183	...	401,117	41	13,318	79
40	567,286	...	425,666	43	12,484	74
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62
平成 元 年	661,363	92	814,832	83	11,086	66
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67
3	662,388	92	810,245	83	11,105	66
4	695,345	97	844,003	86	11,451	68
5	724,675	101	878,633	90	10,942	65
6	729,457	102	881,723	90	10,649	64
7	761,789	106	922,677	94	10,679	64
8	771,084	107	942,203	96	9,942	59
9	780,399	109	958,925	98	9,640	58
10	803,878	112	990,675	101	9,211	55
11	850,363	118	1,050,397	107	9,006	54
12	931,934	130	1,155,697	118	9,066	54
13	947,169	132	1,180,955	120	8,747	52
14	936,721	130	1,167,855	119	8,326	50
15	947,993	132	1,181,431	120	7,702	46
16	952,191	133	1,183,120	121	7,358	44
17	933,828	130	1,156,633	118	6,871	41
18	886,703	123	1,097,591	112	6,352	38

注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。

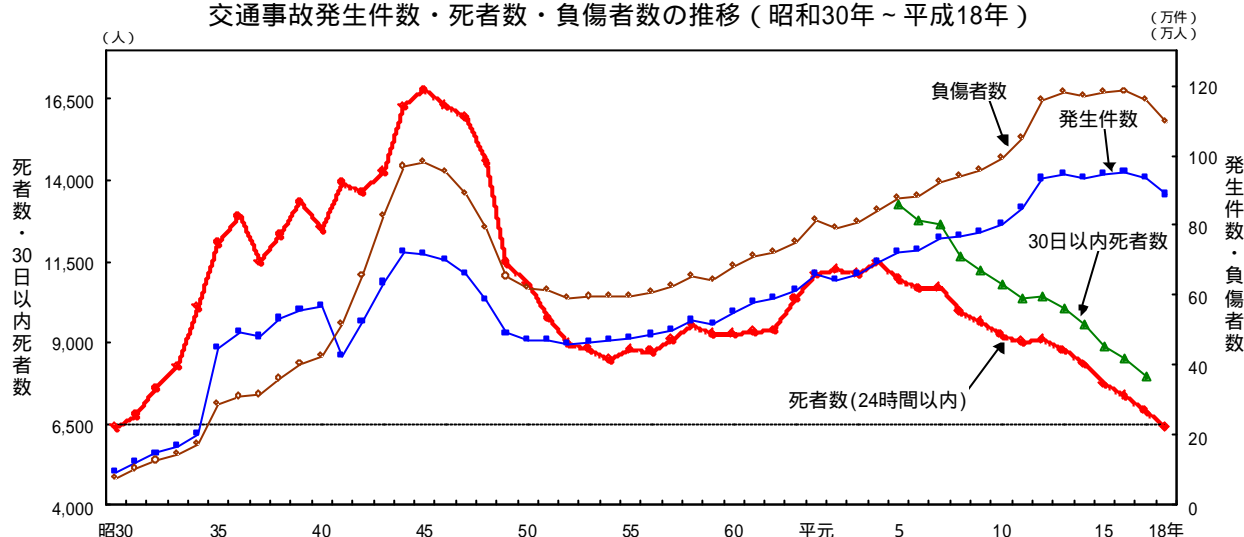
2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。

3 昭和46年までは、沖縄県を含まない。

4 指数は、昭和45年を100とした値である。

5 平成18年の発生件数及び負傷者数は、概数である。

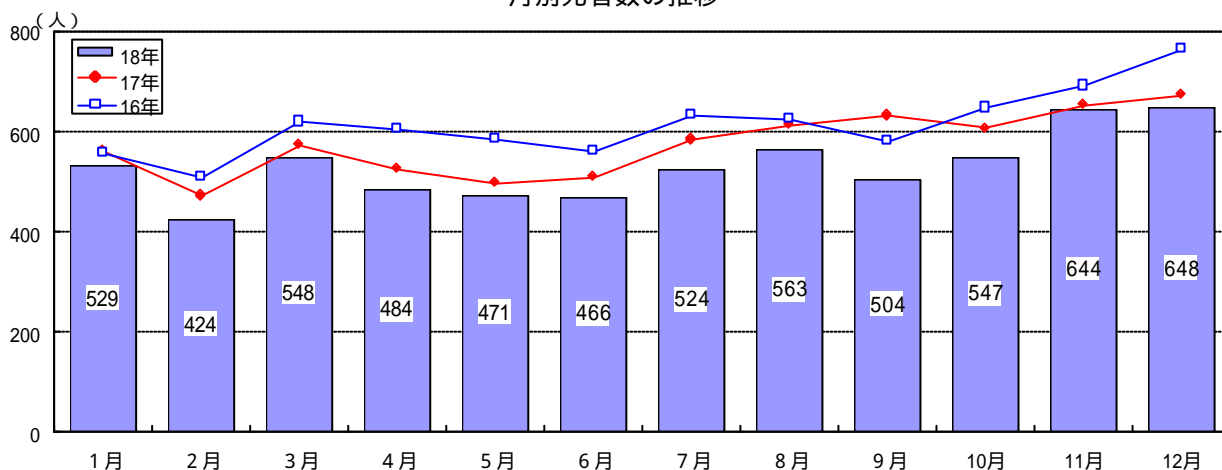
交通事故発生件数・死者数・負傷者数の推移（昭和30年～平成18年）



2 月別交通事故死者数の推移

死者数を月別に前年と比較すると、全ての月で減少している。

月別死者数の推移



月別死者数の推移

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
昭和	30年	482	419	509	521	482	436	2,849	568	594	555	583	589	641	3,530	6,379
	45	1,237	1,140	1,379	1,271	1,419	1,289	7,735	1,480	1,545	1,467	1,476	1,515	1,547	9,030	16,765
平成	元年	822	739	915	839	884	883	5,082	918	970	942	1,086	1,033	1,055	6,004	11,086
	2年	765	700	963	884	904	903	5,119	928	1,026	913	1,061	1,033	1,147	6,108	11,227
	3年	813	722	818	912	865	854	4,984	959	957	983	1,068	1,054	1,100	6,121	11,105
	4年	908	814	924	909	924	878	5,357	911	999	965	1,057	1,087	1,075	6,094	11,451
	5年	837	796	876	840	860	902	5,111	932	924	836	1,070	978	1,091	5,831	10,942
	6年	853	722	859	858	814	831	4,937	926	937	873	952	979	1,045	5,712	10,649
	7年	750	766	842	874	869	819	4,920	852	912	917	1,000	1,004	1,074	5,759	10,679
	8年	792	688	785	787	787	760	4,599	829	859	814	942	900	999	5,343	9,942
	9年	813	722	801	740	796	743	4,615	786	804	760	845	851	979	5,025	9,640
	10年	704	621	783	679	764	676	4,227	734	772	749	838	931	960	4,984	9,211
	11年	715	639	699	679	742	717	4,191	758	770	695	805	853	934	4,815	9,006
	12年	728	666	780	694	695	697	4,260	747	806	685	835	866	867	4,806	9,066
	13年	619	637	763	665	662	659	4,005	743	745	726	823	833	872	4,742	8,747
	14年	643	626	729	684	638	617	3,937	650	692	667	759	793	828	4,389	8,326
	15年	591	553	615	571	603	565	3,498	579	707	643	733	743	799	4,204	7,702
	16年	556	509	617	604	582	559	3,427	631	622	580	645	689	764	3,931	7,358
	17年	558	469	572	524	495	506	3,124	581	610	629	605	651	671	3,747	6,871
	18年	529	424	548	484	471	466	2,922	524	563	504	547	644	648	3,430	6,352
	増減数	-29	-45	-24	-40	-24	-40	-202	-57	-47	-125	-58	-7	-23	-317	-519
	増減率	-5.2	-9.6	-4.2	-7.6	-4.8	-7.9	-6.5	-9.8	-7.7	-19.9	-9.6	-1.1	-3.4	-8.5	-7.6
	1日当たり死者数	17.1	15.1	17.7	16.1	15.2	15.5	16.1	16.9	18.2	16.8	17.6	21.5	20.9	18.6	17.4

注1 増減数(率)は、前年と比較した値である。

注2 昭和30年は死者数が6千人台前半となった最後の年、45年は死者数が最も多い年である。

3 都道府県別交通事故死者数

(1) 多い都道府県

順位	都道府県	死者数
1	愛知	338人
2	北海道	277人
3	千葉	266人
4	埼玉	265人
5	東京	263人

(2) 少ない都道府県

順位	都道府県	死者数
1	鳥取	39人
2	島根	46人
3	山形	57人
4	高知	58人
5	長崎	59人

(3) 増加した都道府県

順位	都道府県	死者数
1	香川	+21人
2	宮崎	+18人
3	高知	+11人
4	鹿児島	+7人
5	佐賀	+6人

全9県

(4) 減少した都道府県

順位	都道府県	死者数
1	埼玉	-57人
2	茨城	-39人
2	千葉	-39人
4	岩手	-38人
5	東京	-26人
5	新潟	-26人

全38都道府県

都道府県名	1月1日～12月31日							
	平18年	順位	平17年	増減数	順位	増減率	順位	
北海道	札幌	141	...	160	-19	...	-11.9%	...
	函館	29	...	23	6	...	26.1%	...
	旭川	35	...	48	-13	...	-27.1%	...
	釧路	42	...	55	-13	...	-23.6%	...
	北見	30	...	16	14	...	87.5%	...
	計	277	2	302	-25	40	-8.3%	27
東北	青森	68	35	79	-11	26	-13.9%	38
	岩手	76	30	114	-38	44	-33.3%	46
	宮城	116	22	138	-22	35	-15.9%	42
	秋田	74	31	75	-1	10	-1.3%	11
	山形	57	45	82	-25	40	-30.5%	45
	福島	136	19	143	-7	21	-4.9%	23
計	527	...	631	-104	...	-16.5%	...	
関東	東京	263	5	289	-26	42	-9.0%	28
中部	茨城	239	11	278	-39	45	-14.0%	39
	栃木	177	12	198	-21	34	-10.6%	30
	群馬	149	17	152	-3	14	-2.0%	14
	埼玉	265	4	322	-57	47	-17.7%	43
	千葉	266	3	305	-39	45	-12.8%	33
	神奈川	240	10	252	-12	28	-4.8%	21
近畿	新潟	161	15	187	-26	42	-13.9%	37
	山梨	61	42	64	-3	14	-4.7%	20
	長野	128	20	152	-24	38	-15.8%	41
	静岡	242	8	251	-9	24	-3.6%	18
	計	1,928	...	2,161	-233	...	-10.8%	...
	四国	富山	73	32	79	-6	19	-7.6%
石川		65	37	75	-10	25	-13.3%	34
福井		64	38	75	-11	26	-14.7%	40
岐阜		155	16	157	-2	12	-1.3%	10
愛知		338	1	351	-13	31	-3.7%	19
三重		167	13	163	4	6	2.5%	7
計	862	...	900	-38	...	-4.2%	...	
九州	滋賀	102	26	118	-16	33	-13.6%	36
	京都	121	21	120	1	8	0.8%	9
	大阪	255	7	268	-13	31	-4.9%	22
	兵庫	256	6	260	-4	16	-1.5%	12
	奈良	66	36	65	1	8	1.5%	8
	和歌山	69	33	71	-2	12	-2.8%	16
計	869	...	902	-33	...	-3.7%	...	
中国	鳥取	39	47	45	-6	19	-13.3%	34
	島根	46	46	69	-23	37	-33.3%	46
	岡山	144	18	148	-4	16	-2.7%	15
	広島	165	14	187	-22	35	-11.8%	32
	山口	108	24	116	-8	22	-6.9%	24
	計	502	...	565	-63	...	-11.2%	...
九州	徳島	63	39	68	-5	18	-7.4%	25
	香川	96	28	75	21	1	28.0%	1
	愛媛	101	27	113	-12	28	-10.6%	31
	高知	58	44	47	11	3	23.4%	2
	計	318	...	303	15	...	5.0%	...
	九州	福岡	241	9	249	-8	22	-3.2%
佐賀		69	33	63	6	5	9.5%	4
長崎		59	43	57	2	7	3.5%	6
熊本		107	25	119	-12	28	-10.1%	29
大分		62	40	86	-24	38	-27.9%	44
宮崎		96	28	78	18	2	23.1%	3
九州	鹿児島	110	23	103	7	4	6.8%	5
	沖縄	62	40	63	-1	10	-1.6%	13
	計	806	...	818	-12	...	-1.5%	...
合計	6,352	...	6,871	-519	...	-7.6%	...	

4 主な重大特異死亡事故

NO	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	5月2日 0時40分ころ	県道 (群馬)	死亡4 軽傷1	普通乗用1 大型貨物1	伊勢崎市の県道において、普通乗用車が道路左側の縁石に接触後、対向車線に進出、折から対向進行してきた大型貨物車と正面衝突し、普通乗用車に乗車の4人が死亡、大型貨物車の運転者1人が軽傷を負ったもの。
2	5月5日 1時20分ころ	国道 (福岡)	死亡4 軽傷2	普通乗用1	太宰府市の国道において、普通乗用車が左カーブで、道路右側の中央分離帯のガードレールに接触、更に高速道路の橋脚に衝突し、普通乗用車に乗車の4人が死亡、運転者等2人が軽傷を負ったもの。
3	7月23日 4時10分ころ	国道 (長野)	死亡4 軽傷1	大型貨物1 軽四乗用1	須坂市の国道交差点において、大型貨物車と軽四輪乗用車が出会い頭に衝突し、軽四乗用車に乗員の4人全員が死亡し、大型貨物車の運転手が軽傷を負ったもの。
4	8月13日 16時25分ころ	国道 (北海道)	死亡4	普通乗用2	野付郡の国道において、普通乗用車が中央線をはみ出し、折から対向進行してきた普通乗用車と正面衝突し、双方の車両に乗車していた4人全員が死亡したものの。
5	8月25日 22時48分ころ	市道 (福岡)	死亡3 軽傷2	普通乗用2	福岡市の市道において、普通乗用車に、後続の普通乗用車が衝突し、衝突された普通乗用車が海中に転落し、転落した普通乗用車に乗車していた3人が死亡、2人が軽傷を負ったもの。
6	9月14日 1時00分ころ	中央 自動車道 (長野)	死亡4 重傷3 軽傷7	車両17台	下伊那郡の中央自動車道において、大型貨物車が湿潤路面の右カーブにおいて滑走し、道路右外壁に衝突した後、約35メートル先において道路を塞ぐ形で横向きに停止したところ、後続の車両が次々と衝突し、車両17台が絡む交通事故が発生、4人が死亡し、10人(重傷3人、軽傷7人)が重軽傷を負ったもの。
7	9月25日 9時55分ころ	市道 (埼玉)	死亡4 重傷7 軽傷10	普通乗用1	川口市の市道において、普通乗用車が、道路左側を集団で歩行中の保育園児及び保育士の列に突っ込み、保育園児4人が死亡、その他保育園児及び保育士17人が重軽傷(重傷7人、軽傷10人)を負ったもの。
8	11月1日 0時55分ころ	県道 (愛知)	死亡4	普通乗用1 大型貨物1	北名古屋市の県道において、点滅信号交差点の赤色点滅側から進行してきた普通乗用車と黄色点滅側から進行の大型貨物車が出会い頭に衝突し、普通乗用車に乗車の4人全員が死亡したものの。
9	11月7日 16時45分ころ	県道 (秋田)	死亡5	普通乗用1	雄勝郡の県道において、普通乗用車が凍結路面の右カーブにおいて滑走し、約70メートル下の崖下に転落し、普通乗用車に乗車の5人全員が死亡したものの。
10	11月15日 16時10分ころ	駐車場 (山口)	死亡4	普通乗用1	下関市のショッピングセンター立体駐車場において、普通乗用車が、立体駐車場内の2階通路を進行中、ガードパイプ、金網フェンスを突き破り、約11メートル下の植え込みに転落し、普通乗用車に乗車の4人全員が死亡したものの。

注 NO7の事故の死者4人のうち2人は24時間経過後の死者

5 国家公安委員会委員長、警察庁長官のコメント

1 国家公安委員会委員長のコメント

これまで、国民の皆様や関係方面の皆様とともに、交通安全の確保に取り組んできたところであり、その結果、昨年交通事故による死者数は、6,352人で、昭和30年以来51年振りに6千人台前半まで減少するに至りました。

しかしながら、昨年は、飲酒運転による悲惨な事故の発生が社会問題となり、また、負傷者数は8年連続して100万人を超えるなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。

交通事故のない安全で快適な交通社会を実現することは、国民すべての願いであり、政府の重要な課題であります。

国家公安委員会としても、引き続き、飲酒運転の根絶に向けて取り組むほか、平成15年に立てた政府方針である「10年間で交通事故死者数を5千人以下とする」との目標を達成するため、強い決意をもって交通事故死者の更なる減少に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、国民の皆様方には、なお一層の交通安全の取組みや安全行動の実践をお願いします。

2 警察庁長官のコメント

昨年は、交通事故による死者数が、6年連続して減少し、昭和30年以来51年振りに6千人台前半の6,352人となったほか、交通事故の発生件数と負傷者数も2年連続して減少しました。

これは、全国警察が国民の皆様や関係機関・団体等と協力し、あるいは連携しながら、悲惨な交通事故を1件でも多く減少させたいという熱意をもって各種の対策に取り組んできた結果であると認識しております。

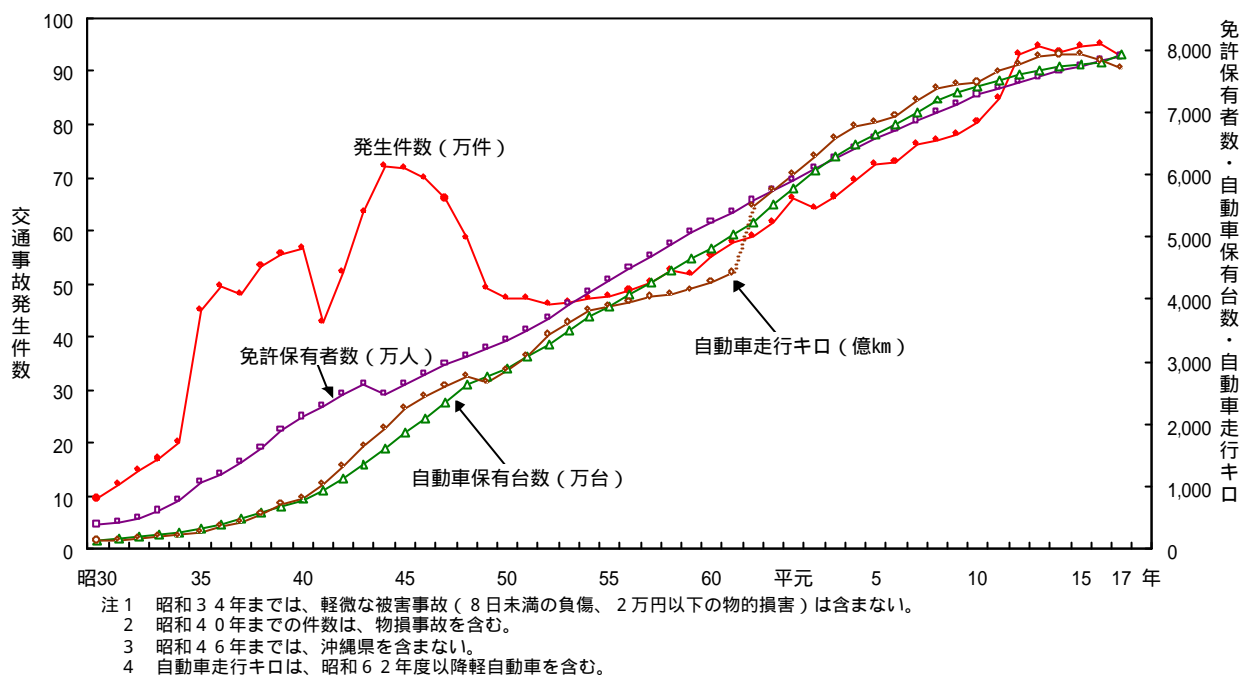
しかしながら、交通事故の発生件数は80万件を、また負傷者数は8年連続して100万人を超えるなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。

また、昨年大きな社会問題となった飲酒運転につきましても、諸対策により飲酒運転による死亡事故の増加傾向には一定の歯止めが掛けられたものの、その根絶を図るためには、なお一層の取組みが必要であります。

交通事故による死者数は減少しましたが、未だに年間6千人以上の方々が交通事故により亡くなっているという現状を重く受け止め、こうした犠牲者を一人でも減らすため、引き続き、各界各層と連携を図りながら、総合的な交通事故防止対策をなお一層進めてまいりたいと考えています。

交通関係指標

交通関係指標の推移（昭和30年～平成17年）

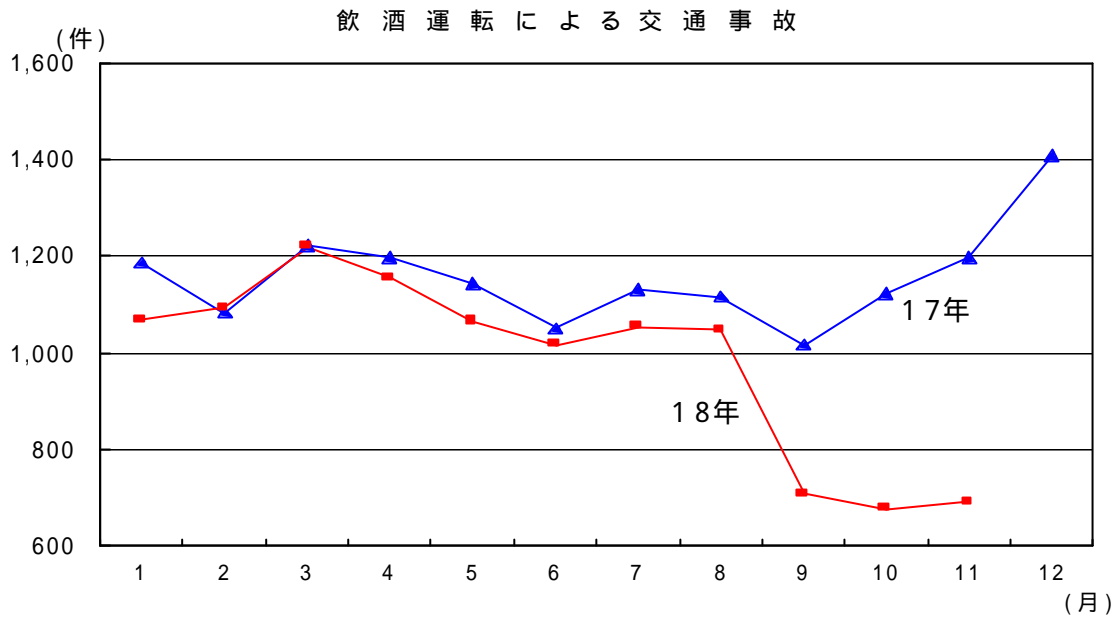


交通関係指標の推移

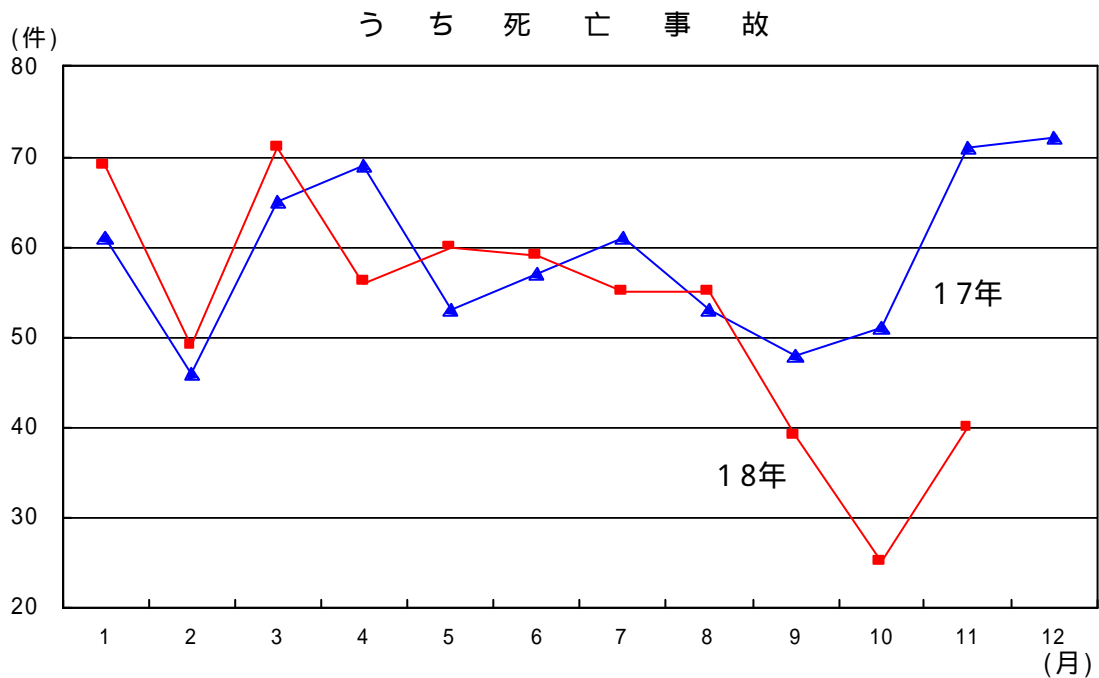
年	運転免許保有者数		自動車保有台数		自動車走行キロ	
	(万人)	指数	(万台)	指数	(億km)	指数
昭和 30年	378	6	146	3	121	2
45	2,645	45	1,859	32	2,260	38
平成 元年	5,916	100	5,794	100	6,002	100
2	6,091	103	6,065	105	6,286	105
3	6,255	106	6,289	109	6,573	110
4	6,417	108	6,471	112	6,782	113
5	6,570	111	6,638	115	6,838	114
6	6,721	114	6,818	118	6,943	116
7	6,856	116	7,007	121	7,203	120
8	6,987	118	7,203	124	7,378	123
9	7,127	120	7,322	126	7,444	124
10	7,273	123	7,401	128	7,461	124
11	7,379	125	7,491	129	7,651	127
12	7,469	126	7,586	131	7,757	129
13	7,555	128	7,666	132	7,908	132
14	7,653	129	7,730	133	7,908	132
15	7,747	131	7,758	134	7,934	132
16	7,825	132	7,809	135	7,817	130
17	7,880	133	7,921	137	7,689	128

- 注 1 運転免許保有者数は、各年12月末の数値である。
 2 自動車保有台数は、各年12月末の国土交通省統計資料「自動車保有車両数」による。
 3 自動車走行キロは、各年度末の国土交通省統計資料「自動車輸送統計」による。
 4 指数は、平成元年を100としたものである。
 5 昭和30年は死者数が6千人台前半となった最後の年、45年は死者数が最も多い年である。

飲酒運転による月別交通事故の発生状況



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	11月末計	12月	合計
H17	1,187	1,083	1,222	1,197	1,144	1,051	1,131	1,116	1,015	1,123	1,198	12,467	1,408	13,875
H18	1,067	1,092	1,219	1,154	1,064	1,016	1,053	1,046	706	676	689	10,782		
増減数	-120	9	-3	-43	-80	-35	-78	-70	-309	-447	-509	-1,685		
増減率(%)	-10.1	0.8	-0.2	-3.6	-7.0	-3.3	-6.9	-6.3	-30.4	-39.8	-42.5	-13.5		



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	11月末計	12月	合計
H17	61	46	65	69	53	57	61	53	48	51	71	635	72	707
H18	69	49	71	56	60	59	55	55	39	25	40	578		
増減数	8	3	6	-13	7	2	-6	2	-9	-26	-31	-57		
増減率(%)	13.1	6.5	9.2	-18.8	13.2	3.5	-9.8	3.8	-18.8	-51.0	-43.7	-9.0		

注 1 いずれも、原付以上運転者(第1当事者)の飲酒運転による(死亡)事故件数
 2 増減率は、前年同期との比較である。

交通安全基本計画の推移

	計画期間	目 標	結 果
第一次	昭和46年度 ～ 50年度	< 昭和50年の目標 > 昭和50年における歩行中の交通事故死者数（予測値）の半減 8,000人 4,000人以下	昭和45年の歩行中の交通事故死者数 5,939人 昭和50年の歩行中の交通事故死者数 3,732人
第二次	昭和51年度 ～ 55年度	< 昭和55年の目標 > 過去最高時（昭和45年）の交通事故死者数の半減 16,765人 8,382人以下	昭和55年の交通事故死者数 8,760人
第三次	昭和56年度 ～ 60年度	< 昭和60年の目標 > 交通事故死者数 8,000人以下	昭和60年の交通事故死者数 9,261人
第四次	昭和61年度 ～ 平成2年度	< 平成2年の目標 > 交通事故死者数 8,000人以下	平成2年の交通事故死者数 11,227人
第五次	平成3年度 ～ 7年度	< 平成7年の目標 > 平成7年における交通事故死者数（予測値）の減少 13,500人程度 10,000人以下	平成7年の交通事故死者数 10,679人
第六次	平成8年度 ～ 12年度	< 平成9年の目標 > 交通事故死者数 10,000人以下 < 平成12年の目標 > 交通事故死者数 9,000人以下	平成9年の交通事故死者数 9,640人 平成12年の交通事故死者数 9,066人
第七次	平成13年度 ～ 17年度	< 平成17年の目標 > 交通安全対策基本法施行以降、最低時（昭和54年）の交通事故死者数8,466人以下	平成17年の交通事故死者数 6,871人
第八次	平成18年度 ～ 22年度	< 平成22年の目標 > 世界一安全な道路交通の実現を目指し、 交通事故死者数 5,500人以下 死傷者数 100万人以下	